

# 県内の賃上げ全体と中小組合300人未満でも 1万円を超える賃上げ獲得が続く!!

## 連合熊本2024春季生活闘争 第2回賃上げ集計結果

連合熊本は、2024春季生活闘争における第2回賃上げ集計結果を5月10日（金）に公表しました。熊本県全体の賃上げ額（回答済み68組合）は12,540円・4.44%（昨年同期比+1,444円・0.55ポイント増）、300人以上は13,028円・4.48%（昨年同期+369円・0.22ポイント増）、300人未満は10,702円・4.30%（昨年同期比+3,459円・1.31ポイント増）と額が昨年同比で約1.5倍に迫る状況となりました。全体も中小組合も、額・率とも昨年を超える賃上げが続き、32年ぶりの4%超えの状況が続いています。

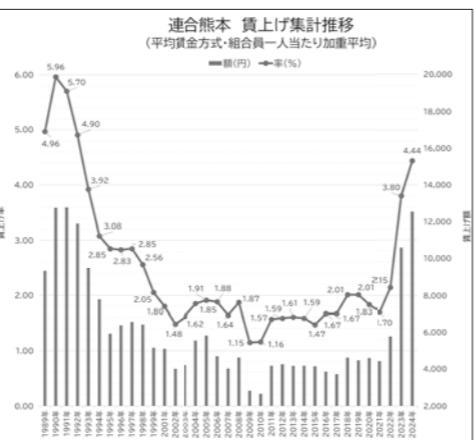
また、54組合（68組合中）のベースアップ（賃金改善）が明確にわかる組合では、12,911円・4.53%（昨年同期

比+1,635円増・0.58ポイント増）となり、すべての業種でベースアップを獲得し引き続き全国の良い流れを継続している状況です。

今回の闘争では、「ベースアップ」「初任給」「臨時給」等の賃金面だけではなく労働環境面についても協議をされ労働協約条件の改定に繋がっている報告もいただいています。

今次闘争は、社会的にも注目されており、地元紙だけではなく、テレビでも第3回中小地場共闘センター会議の様子を取り上げていただいている。連合熊本は今後も「賃上げの流れ」をしっかりと繋げていきます。

熊本集計		組合員数による加重平均			
		2024年5月8日集計			
平均賃金方式		2024回答（2024年5月 日公表）		2023回答（2023年5月11日公表）	
組合員数		組合員数	定坪相当分込み 賃上げ計	組合員数	定坪相当分込み 賃上げ計
68組合	24,888人	12,540円	4.44%	1,444円 0.55ポイント	11,096円 3.89%
300人未満	47組合 5,232人	10,702円	4.30%	3,459円 1.31ポイント	7,243円 2.99%
300人以上	21組合 19,656人	13,028円	4.48%	369円 0.22ポイント	12,659円 4.26%



## 第47回火の国まつり「おてもやん縦おどり」参加者大募集!

2年連続参加決定!今年もみんなで派手に、もっともっと楽しむバー!!

日 時：2024年8月3日(土) 19:00開始

募集人員：60人

初めての参加者には、Tシャツを配布します。

(昨年参加者は、昨年のTシャツを着用してください)

\*原則、小学校以下の参加は不可とさせていただきます。

最終締切：2024年6月20日(木)

\*定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

お問い合わせ：連合熊本 齊藤 Tel096-375-3811



## 編集後記

第95回メーデーが無事に終わりました。今回は初めて事務局として関わることができ、今までと違った視点で、開催までの準備を間近でみることができました。熊本地協事務局長でもある泉副事務局長の新企画「献血カー」も、なんとか目標人数をクリアしたこと。ご協力いただいた方に心から感謝します。

当日赤前の大学生だったわたしは、講義の合間によく友人と献血にいきましたが、社会になると疎遠となってしまい、献血カードも旧姓のまま。今回久しぶりの献血で、新調してもらいういい機会となりました。

献血はまさに、今年のメーデースローガン「支え合い・助け合い」です。  
(Nami)

## Topics

RENGO KUMAMOTO

### お知らせ



### 今後の主なスケジュール

- 5月22日 連合熊本第1回ジェンダー平等・多様性推進委員会  
〃 連合熊本第7回執行委員会  
〃 連合熊本第1回第3作業部会  
〃 連合熊本第1回第2作業部会  
23日 連合熊本第1回第4作業部会  
27日 連合熊本第4回中小地場共闘センター会議  
6月4日 連合熊本推薦議員団会議第18回総会  
〃 連合熊本第1回第1作業部会  
4-5日 全国一斉集中労働相談  
ホットライン  
「～仕事で悩むあなたを応援（サポート）します！～」



くらしをまもり、未来をつくる

連合熊本

3811情報

発行 日本労働組合総連合会

熊本県連合会

発行・編集人 山本 寛

〒862-0976

熊本市中央区九品寺1丁目17-9

☎(096)375-3811 FAX(096)375-3017

印刷所 株式会社 チューン

2024年5月22日発行 No. 379

## 第95回メーデー熊本県中央祭典を開催 2000人が結集!

連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ  
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう



友田孝行  
連合熊本会長



木村敬  
熊本県知事



深水政彦  
熊本市副市長



金成真一  
熊本労働局長



原田結佳  
熊本地協青年女性連絡会  
事務局長



野見山櫻子  
連合熊本女性委員会  
副委員長



丸田裕司  
天草宇城上益城地協  
副議長

連合熊本・熊本地域協議会・天草宇城上益城地地域協議会は、ゴールデンウイーク初日にあたる4月27日(土)に益城町グランメッセ熊本にて、第95回メーデー熊本県中央祭典を開催し、



2000人が参加した

およそ2000人の働く仲間とその家族  
が集いました。

内田熊本地協副議長の司会で式典は  
スタート、連合熊本友田会長が主催者  
を代表して挨拶し、多くのご来賓を代  
表して、木村敬熊本県知事、深水政彦  
熊本市副市長、金成真一熊本労働局長  
より祝辞をいただきました。

祝電・メッセージ披露のあと、熊本  
地協青年女性連絡会の原田事務局長が  
メーデースローガンを読みあげ、連合  
熊本女性委員会の野見山副委員長が、  
メーデー宣言（案）を提案し、会場の

大きな拍手で採択されました。最後に  
天草宇城上益城地協の丸田議長の閉会  
挨拶のあと、森田熊本地協議長による  
団結ガンバローで第1部を締めくくり  
ました。



### 友田会長主催者代表あいさつ(要旨)

本メーデーに、ご家族も含め多くの皆さんにご参加いた  
だきありがとうございます。

まず、1月1日に発災した能登半島地震において、改め  
て犠牲となられた皆様に哀悼の意を表するとともに被災さ  
れた皆様にお見舞いを申し上げます。

この間、皆さんより寄せられた「連合緊急救援カンパ（総  
額1億8,543万1,538円）」を3月に義援金として被災県に寄  
付させていただきました。また、3月25日より「連合救援  
ボランティア」がスタートしました。被災地では、息の長い  
「支え合い・助け合い」の輪の拡大が求められており、  
連合本部と連携しながら、被災地支援に取り組んでまいり  
ます。

「みんなで賃上げ ステージを変えよう！」をスローガ  
ンとした2024春季生活闘争において、連合が発表した第4  
回回答集計結果での全国における平均賃金方式での加重平  
均は、16,037円・5.24%。うち、組合員300人未満の中小組合は、  
12,097円・4.69%となっており、全体も中小組合も、比較  
可能な2013闘争以降で最も高い水準となっています。

連合熊本が発表した第1回回答集計結果での県全体の  
賃上げは、12,660円・4.47%。うち、300人未満の組合で  
10,348円・4.11%となっており、率が4%を超えるのは32  
年ぶりの状況となります。これから本番を迎える中小地  
場組合に、この「賃上げの勢い」を波及し、地場相場の  
形成に努めていくとともに、「サプライチェーン全体で  
生み出した付加価値の適正配分と価格転嫁の促進」の醸  
成に取り組んでまいります。

政策実現の取り組みである政治活動では、来る第50回  
衆議院議員選挙において、連合熊本が推薦・支持する予  
定候補者の必勝に向けた取り組みを進めているところで  
す。緊張感ある政治状況をつくりだすとともに、連合が  
めざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向  
け、連合熊本一丸となって取り組んでいきましょう。

本メーデーに際し、「メーデーの意義を重んじ、すべ  
ての働く仲間が団結・連帯することの重要性を訴えると  
ともに、未来に向けた大きな一歩を踏み出していく」そ  
のようなメーデーをともに創りあげる一日としていきた  
いと思います。

第2部

# 第95回メーデー 熊本県中央祭典

第2部は、柿田熊本地協副議長の進行でスタート。昨年に引き続き、必由館高校和太鼓部の力強い演奏と華麗な演舞に、会場の参加者は拍手をおくりました。

続いて、長渕剛のモノマネで天草を中心に活動展開されている「長渕つもりバンド」のステージがあり、長渕つもりさんの呼びかけで、参加者が舞台にあがって会場の参加者と一緒に歌うといった盛り上がりもみせました。



必由館高校和太鼓部



演舞に魅了される観客



名前がよばれた!!



やった、メーデー大賞！

思わず笑みがこぼれます

今年は会場内に、地協や構成組織・団体、福祉事業体の出展のほかに、キッチンカー、子ども向けアトラクションもあり、家族連れの賑わいがみられました。また、メーデー初企画の献血カーには「支え合い・助け合い」の心で、63名の方にご協力いただきました。

第95回メーデー熊本中央祭典が盛会に終わりましたことに、感謝いたします。

## 第95回メーデー熊本県中央祭典 メーデー宣言（案）

石川県能登半島での大地震発生から118日目となる本日、第95回メーデー熊本県中央祭典を開催した。改めて、亡くなられた方に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、被災された方々、いままだ避難生活を続いている方々に、心からお見舞いを申し上げる。そして、一日も早く平穏な日々が取り戻せるよう心から願う。

私たちは、これまでにも、これからも、「支え合い・助け合い」の心を一つに、被災地へ被災者に寄り添った支援活動に取り組んでいく。

世界は「分断と対立」の道を突き進んでいる。未だ終結の見えないロシアによるウクライナ侵略で重なる北朝鮮によるミサイル発射など、平和と秩序を武力で破壊する暴挙を決して許してはならない。さらに、ミャンマー軍事政権による市民への弾圧、パレスチナ自治区ガザにおける人道危機の深刻化など、人類普世の価値たる人権が脅かされている。連合は、ITUICをはじめとする世界の働く仲間との国際連帯を強め、世界平和の実現と自由で民主的な世界の構築に向けて行動していく。

2024春季生活争は、労使の真摯な交渉の積み重ねにより、これまで多くの組合で昨年を上回る賃上げを獲得している。デフレマインドを完全に払拭し、新たな経済社会のステージへ転換する正念場において、私たちは大きな一歩を踏み出した。私たちは職場を、そして社会を変える力がある。未来づくりへの社会的責任を自覚し、先行組合の勢いを後続の中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く仲間の生活向上につなげていく。

そして、日本の持続可能性に関わる構造的課題の解決も待ったなしである。私たちは「働くことを軸とする安心社会」一まる・つづく・創り出す」の実現にむけて、政策課題の改善に真正面から取り組み、ジェンダー平等の推進はもとより、さまざまな人々との対話と集団的労使関係を社会に広げる取り組みを進めるとともに、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の結集・拡大をめざす。

今こそ、私たちの連帯の力で、平和と人権が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会を、そして一日も早い被災地の復興を実現しよう。

以上、ここに宣言する。

2024年4月27日  
第95回メーデー熊本県中央祭典

青年委員会 売り上げはいかがですか

女性委員会はドリンク販売

# 各地域協議会でも第95回メーデーを開催！

県下のべ  
4,000人  
が参加

4月27日（土）荒尾市のグリーンランドリゾートにて第95回メーデー肥後に明集会を開催しました。

朝方まで雨模様でしたが、みんなの思いが天に届いたのか、夜明けとともに雨は上がり、絶好の行楽日和のなか組合員・家族連れなど約1000人が集まりました。

主催者を代表して馬場議長の挨拶のあと、連合熊本西副会長、浅田荒尾市長から来賓挨拶をいただき、続いて青年連絡会福田議長がメーデー宣言を力強く提案し、満場の拍手で採択されました。

今年から駐車場の利用方法を変更したため、予想以上に混雑が生じ、開催を10分ほど遅らせることになりましたが、大きな混乱もなく式典は終了しました。2部のお楽しみ抽選会では、グリーンランドや福祉事業体から提供も含め、たくさんの賞品が準備され、会場の参加者が息をのむなか、当選者が発表されました。

集会終了後は、多くの参加者が会場となったグリーンランド遊園地にて、家族で楽しむ姿が見られました。



今回会場のお祭り広場特設ステージ

4月27日（土）大津町生涯学習センター文化ホールにて第95回メーデー第19回菊阿地協メーデー集会を開催し、組合員とその家族約400人が集まりました。

オープニングに地元大津太鼓清流会の演奏で式典がスタートし、主催者を代表して松村議長が日頃からの連合地協活動と春闌への取り組みに対するお礼のあいさつを行いました。お迎えした来賓13名を代表して、連合熊本小材副会長、社民党熊本県連今泉代表、佐藤阿蘇市長、吉良南阿蘇村長、福祉事業体を代表して今年より移転した九州労働金庫菊池支店桑原支店長、最後に地元佐藤大津町議よりあいさつを頂きました。その後、坂本幹事がメーデー宣言（案）を読み上げ、満場一致で採択されました。

式典終了後には、第1回の抽選会を行い、地元大津町中心のキッチンカーにも出店頂き、第2部 大津太鼓 清流会の演奏と合わせて大盛況でした。

最後に、構成組織より提供頂いた第2部のおたのしみ賞品抽選会を実施し、松村議長による団結ガンバローで式典を締めくくりました。



地元大津太鼓清流会の力強い演奏

4月28日（日）相良村総合体育館アリーナにて、第95回メーデー人吉球磨地協祭典を開催しました。「連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！」被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！をメインスローガンに掲げ、夏を思わせるほどの晴天に恵まれ、組合員・家族など約300人が集まりました。

主催者を代表して吉村議長が「連合に集う仲間同士共に支え合い、働くことを軸とする安心社会の実現に取り組もう」とあいさつしました。次に連合熊本友田会長をはじめ、5名の来賓から祝辞を頂き、大無田隼人青女連絡会議長がメーデー宣言（案）を読み上げ、満場の拍手で採択しました。

最後に吉村議長の「団結ガンバロー三唱」で第1部式典を締めくくりました。第2部のイベントでは、各産別による模擬出店、リサイクルバザー、的当てなどの子ども向けゲームコーナーやミニSL乗車会で参加された家族連れは、好天のメーデーを楽しみました。



子どもに人気のミニSL乗車会

4月28日（日）桜十字ホールやつしろにて、第95回メーデー県南地区集会を開催し、組合員とその家族370名が参加しました。主催者を代表して松崎議長が「来たる衆議院議員選挙では不正な政治に終止符を打ち、働くことを軸とする安心社会を実現させましょう」と挨拶をし、来賓を代表して、連合熊本山本事務局長、幸村香代子県議、峯潔九州労働金庫熊本県本部の3名から力強い連帯のご挨拶を頂きました。

続いて、3月5日に結成された中九州短期大学教職員組合（教育ユニオン）村上執行委員長より、活動へのお礼と今後の支援についての要望がありました。その後スローガン紹介、メーデー宣言（案）採択があり、松崎議長の団結がんばろうで第1部の式典は閉会しました。

第2部では、バルーンパフォーマンスRYU、2組のバンドのステージ、広場ではキッチンカー、男女共働ショッピング、ミニSL他の出店で賑わいました。ホールでは、い草のリース作りワークショップや事業体コーナーの体験見学や飲食コーナー、お楽しみ抽選会では、恒例の「肉」の県南地協賞をはじめ、各賞の当選者は大喜びでした。



バルーンパフォーマンスRYUさん

県南地協